



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2004.01.20 No. 27 - 37

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

HLQ 乗員を機長昇格させ、JEX へ移籍！

JAS 乗組は、同一労働・同一賃金の原則を崩す、
低労働条件乗員の増加には反対しています！

経緯：JAS 経営は、ハーレークイン事業の終了に伴い、2003 年 12 月 9 日より 6 名、2004 年 5 月より残りの 6 名をハーレークイン内で機長昇格させ、一旦解雇の後、JAL エクスプレス社の機長として採用させるという通知を JAS 乗組にしました。

この問題点に対する JAS 乗組の対応：JAS 乗組では、この問題に対して鋭意検討したところ以下のような問題点が捻出されるため、グローバル的な視点「同一労働・同一賃金の原則を崩す、低労働条件乗員の増加には反対」という方針で運動を進めています。

短期的な問題

- ✓ 過去の交渉を無視した労務姿勢。
- ✓ 機長昇格というパイロット人生における重大イベントを軽視した経営姿勢。
- ✓ 労働組合を組織していない乗員を 会社の一方的な都合による解雇・配転・転籍する 不当性。
- ✓

中・長期的な問題

- ✓ 同一労働同一賃金の原則を無視した経営姿勢と低労働条件乗員の増加。
- ✓ 低コストの乗員が増加することによる、モラルと安全性の低下。

根本的な問題解決をするには、日乗連内乗員組合での結束と団結のみ！

こうした問題に対して、今できる有効かつ適切な取り組みは JAL グループにおける運航乗務員としての職場の確保、組織力の維持のために、団結を強めることです。現在、JJ グループを取り巻く環境は完全に JALS 労務姿勢に支配されています。JAL グループ内乗員組合・機長組合と連携し、JALS 経営に対し運航乗務員としての職場の確保を強く訴え、勝ち取っていかねばなりません。これらの問題は、JJ グループのみならず、全日空グループも同じ情勢です。

日本の航空界は、アジアの労働条件に合わせようと、政財官一体となって攻撃を加えています。単組のみでの運動は、限界にきています。

根本的な、問題解決をしていくには、日乗連でさらなる団結と結集をしていくことのみです。

